

令和2年度 第2回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会

議 事 録

日 時：令和2年9月11日（金） 午後2時～3時10分

会 場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館研修室

出席委員：木戸拓史（札幌市市民文化局文化部文化振興課長）、中田三喜男（宮の森まちづくりセンター所長）、吉田重弘（宮の森明和会長）、國松明日香（彫刻家） 以上4名

所 管 課：堀井一生（札幌市市民文化局文化部文化振興課振興係長）、平将士（同文化振興課振興係事務職員）

事 務 局：岩崎直人（本郷新記念札幌彫刻美術館業務係長）、山下秀幸（同業務係事務職員）

次 第：1 開会

2 議事

（1）令和2年度第1回理事会報告

（2）令和2年度事業経過報告

（3）新型コロナウイルス感染症の影響と対応

（4）意見交換

（5）その他

3 閉会

当日配付資料：

- ・令和2年度第2回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会次第
- ・令和2年度本郷新記念札幌彫刻美術館事業経過報告（2020年4月～8月）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響と対応（2020年6～8月）
- ・さあ！まわろう SAPPORO～見どころ施設無料化月間～綴り（含、新聞記事、入館者数内訳表）
- ・令和2年度開催事業チラシ等（4種）

議事内容：

（1）令和2年度第1回理事会報告

第1回理事会にて新年度の事業計画と予算が承認されたこと、また、専務理事が畠山茂房氏から渡邊多加志氏に交替したことが承認されたことを報告した。

（2）令和2年度事業経過報告

事務局より配付資料に基づき、8月31日現在の令和2年度事業の経過報告を行った。

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響と対応

事務局より配付資料に基づき、8月31日現在の新型コロナウイルス感染症の影響と対応について、現況説明を行った。

(4) 意見交換

國松：新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、「わくわく★アートスクール」では皆で知恵を出し合って上手に方向転換して成し遂げたと思う。かといって、以後、特に美術の場合、すべてが遠隔とは行かないだろう。

「舟越桂展」は、素晴らしい展覧会で楽しく拝見したのだが、「無料化月間」の入館者が、舟越展にも大きく影響したらよかったのにとと思う。札幌市は、この企画の結果を受けてきちんと検証して欲しい。

吉田：200円が無料になっただけで、この数字は凄い。宮の森音楽祭をかつて行ったときもよく人が集まった。そういった事業をまたやってみては？

中田：地域の人々に支えていただくという事業展開が望ましい。この地域ならではの豪邸拝見、彫刻の道などを絡めた散策ツアーなどを企画してみたい。地域の宝としてこの美術館を応援してもらおうという取り組みが大事だと思う。

吉田：親子も一緒に行える機会を増やして欲しい。

中田：親子を対象にする事業は、家族の共通体験として重要。

木戸：舟越桂展を観に来た人が、皆、記念館に足を運ぶというわけでもない。

350人（記念館総入場者3,664-無料化月間入場者2,912=舟越券752人、本館舟越入館者1,100-舟越券持参記念館入場者752=舟越券で記念館に入らなかった人348人）ほども観ていない。

國松：新型コロナ感染症によって生まれた本来は予定されていなかった企画だが、各施設とも興味深い数字が現れている（新聞記事より）ので、これに関わった施設が集まって意見交換されるといい。

國松：また、中田委員からもあったように、市民活動とも手を組み、且つ館を中心軸に据えるなど、地域との密接な関係を構築して欲しい。

吉田：かつても取り組まれていなかったわけではないと記憶しているが、持続されなかった。

(4) その他

①《鳥の碑》が今月末からブロンズ鑄造され設置される作業に入ることを連絡した。

②次回開催日時は12月4日（金）を予定。